

令和元年7月7日執行

白河市議会議員一般選挙選挙公報

白河市選挙管理委員会



「老後2千万円必要」とんでもない
「減らない年金」
底上げを



ひろし
日本共产党

事務所 白河市四ツ谷4 電話0248-21-0105

国保ためこみ金10億円いかし
給食費を無料に県市折半で市予算の0.5%でできます
ごみ袋代を無料に市予算の0.2%でできます
消費税10%中止、原発ゼロ——サヨナラ安倍政治を

若者に安全を
お年寄りが安心して暮らすことができる
白河市を目指して頑張ります。
どんなに立派なことを並べても実行
できなければ風前の灯である。
北野ただみちは、市民の声を
火の玉となって市政に反映させます。

ともにつくろう白河

須藤ひろゆきのめざすもの

- ◆安心して子どもを産み育ててることができる環境づくりをめざす
- ◆白河らしさ・よさ・「仁」のこころを伝え、誇りのもてる教育環境の充実をめざす
- ◆小峰城・白河駅周辺の中心市街地のさらなる整備を進め、街なかの賑わい創出と新しい白河の顔づくりをめざす
- ◆文化施設や集会所の有効活用と文化芸術活動の支援を進め、文化の向上をめざす
- ◆医療・福祉の更なる充実をすすめ、安心・安全な生活環境づくりをめざす
- ◆地域社会の担い手である中小企業・小規模企業への支援、産業振興をすすめ、働く場の確保をめざす
- ◆各町・各地域にある足元の資源を見つめ直し活用しながら均衡ある発展をめざす
- ◆災害に備えた施設整備と町内会・消防団への更なる支援をすすめ、災害につよい街づくりをめざす



須藤ひろゆき
すとうひろゆき
昭和二十九年三月四日生まれ
白河中央中学校PTA元会長
白河青年会議所三十五代理事長
白河市議会議員(元市議会議長)

継承! 実績! 発展!
暮らしやすく住みよい
魅力ある地域づくり

みずのや正則は約束します。

- ① **暮らし**
足元の資源を生かした魅力ある地域づくり
歴史や伝統文化の保存・継承を推進
教育環境の充実・スポーツ・文化芸能の振興
人口減少対策の推進
防災対策及び消防・救急体制の強化
安全で利便性の高い道路整備の充実
- ② **経済**
子育て支援や高齢者の医療体制の充実
農業・工業・商業・観光業の復興
- ③ **教育**
未来を担う人材育成の実現を推進



昭和三十一年五月二十五日生まれ
白河東村議員
ひがし赤十字奉仕団副委員長
白河市議会議員
まつのり

A Q 「白河の課題は子ども減少」
白河市の子ども減少の典型的な学校例でお話できますか。
A Q 県統計課資料によると合併から小中学校児童は1,417人、人口は5,368人
人が減少しました。この小中学校児童1,417人の減少は旧三村の合併前の全小、
学生1,137人(表郷村448人、東村408人、大信村281人)を超える減少になります。
今を生きる私たちは後世により遺産を引き継ぐ責任があります。このまま子ども減少を許せば「白河の新しい世代」に誇れる遺産を引き継ぐことができません。
何としても子どもも減少しないように減らなければ白河が最大の危機に直面する時
がやってきます。悲観的なことを論ずるよりも、それぞれが一致団結して解決策
を探り、この大切な課題に身を投じてみようではありませんか。

（子ども減少・Q & A）
福島県のマンモス校であった白河中央中学校はピーク時には約1,800人
もの生徒がおりましたが、現在はわずか464人です。信じがたい減少です。
困ったことに、今も底なし沼のように減り続けています。
何としても子どもも減少しないように減らなければ白河が最大の危機に直面する時
がやってきます。悲観的なことを論ずるよりも、それぞれが一致団結して解決策
を探り、この大切な課題に身を投じてみようではありませんか。



しぶはら隆夫
たかお

子育ての現実を
市政に届けます!

1 議員・議会 議員の見える化に努めます

- NSでの活動発信、チラシによる定期的な活動報告
- 子連れOK・途中退室OKなタウンミーティングを開催

2 子育て 安心して子どもを産み育む街

- 妊娠婦の医療費助成を目指します。
- 子ども、子育てをする方の居場所を確保し、子どもの貧困などの声に出来ない子ども達の現実に立ち向かいます。

3 少子高齢化対策 経済安定・婚活事業の拡充

- 若者や子育て世代の経済的不安が少子化を招いていると考え、家賃補助制度の見直し、最低賃料の引き上げに尽力します。
- 人生100年時代、高齢者の福祉充実・経済安定に努めます。
- 市内の婚活事業の活性化に取り組み、既婚率を上げます。

4 教育 教育者のマンパワーを増やします

- 複数担任教育(保育)を行うことで若い先生が優秀な先生から学び、教育の質の向上ならびに、いじめ問題等の早期発見、改善につなげます。

5 帰りの問題 高いゴミ袋・プラゴミ問題

- ゴミ問題に着目し、その原因究明と改善に努めます。

その他、働く世代への政策もあります。
大木えりは皆さん本当に必要としていることを議会で伝え、暮らしに反映させます!
詳しく述べてください。
oki-eri.com



大木えり
おおきえり
無所属新人32歳二児のママ
現役保育士幼稚園教諭
福島県須賀川市出身
1986年11月27日生まれ
A型・いて座

みんなの声をチカラに日々全力挑戦!

1 交通弱者のための交通網の大勢づくり。

2 防災・減災対策の取り組み。

3 いじめや不登校などの悩み相談の環境作りを推進。

4 低出生体重児のための母子手帳作成の推進。

提案力 実現力 No.1 公明党

私のプロフィール

- ◆昭和40年2月9日生まれ
- ◆白河第二小・第二中・県立白河実業高校商業科卒業
- ◆伊藤会計事務所勤務・退職
- ◆平成23年白河市議会議員(現在2期目)

◆家族:母・妻●趣味:映画鑑賞・カラオケ

●好きな言葉:感謝・挑戦

●好きな書物:レ・ミゼラブル

●尊敬する人:野口英世



伸むー（54歳）
しんむー（54歳）

「築きます！ あなたの1票 白河市」

投票日 7月7日(日)

午前7時から午後6時まで

令和元年7月7日執行 白河市議会議員一般選挙選挙公報

白河市選挙管理委員会

元気いっぱいの 白河を次世代へ！

●「子育てするなら白河市」
子育てが楽しくなるまちづくり
・学校給食、教材、予防接種の無料化を推進。
・通学路ヘガードレール・防犯カメラ設置。

●必要な人にサービスが確実に届く
まちづくり
・交通弱者への支援対策を検討・実施。
・難解な行政文書を市民目線に簡素化。

●「人口減」を少しでも抑えるまちづくり
・福祉、子育て支援について県内で先進を堅持。
・子どもから高齢者までが集まる公園・室内遊び場を計画。

●活力と豊かさを維持拡大できるまちづくり
・映画やドラマのロケを積極的に誘致。
・地場産業の後継者育成と起業家支援。

これまで、これからも、
『まちづくり』一直線!!

●昭和47年生まれ 千葉工業大卒業 22年間「鉢金旅館」を営む
白河商工会議所青年部顧問 福島県商工会議所青年部連合会理事
東北ロック商工会議所連合会理事 白河方面横町消防団部長
鹿鳴祭礼横町社長筆頭 元白河中央PTA会長
映画「ライズ ダルライマー」でダイスNo.6を演じる



鈴木
ゆうや
47歳

■経歴
第3子から無料を実現
こんどは
給食費
全員無料に
●白坂駅にトイレを
●低年金の底上げを
●1959年生まれ。●新潟大学商業短期大学部卒。
●市議1期。

■事務所
白河市北中川原145 電話0248-21-5716

暮らしに希望を 白河からサヨナラ安倍政治を

「老後2千万円必要」とんでもない

「減らない年金」を

●低年金の底上げを

環境まもる再生可能
エネルギー転換

原発ゼロ

●国保税引き下げ
●消費税10%中止

●憲法9条守る

■略歴
●1959年生まれ。●新潟大学商業短期大学部卒。

●市議1期。

■事務所
白河市北中川原145 電話0248-21-5716



さとう
正則

■経歴
みんなで取り組むべき介護の5つの問題

高齢化社会を生きる我々一人一人が真剣に考え、取り組むべき課題です。

今回ご紹介した介護の5つの問題は、決して他人事ではありません。議員として、真剣に取り組む課題と考えております。

●介護難民
(介護が適切に受けられない高齢者)

●老老介護と認知介護

●介護における5つの問題

●成年後見人トラブル

●高齢者の一人暮らし

●次世代のために

子どもは地域の宝です。のびのびと健やかに育つ環境が大切です。

そのためには子育て世代の問題解決に取り組みます。また、地元で就職し、たくなるような若者にとって魅力ある「しらかわ」をつくります。



山口
こうじ
(65歳)

「築きます！ あなたの1票 白河市」

投票日 7月7日(日)

午前7時から午後6時まで

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、縮小して印刷したものです。

住み続けたくなる街、 白河を目指して

●人口減少

人口減少問題は全国的に進んでおり白河も例外ではありません。どのようにして増やすかも課題ですが、まずはどのようにして流出を抑えられるかを課題のひとつとして教育・医療・子育て支援を中心に取り組んでいます。

●少子高齢化

高齢者や交通弱者の方が車を使わずに徒歩でも日常生活を送れる様な仕組み作りを提案しています。それによって街の賑わいや商店街の発展にもつながる、様々な提案をしていきます。また高齢の方々が活躍できる場を模索してまいります。

●子供の安全

子供達に安心安全な環境を提供し続けるために、白河地域からライジングや虐待等をゼロにし、事件や事故に巻き込まれる事がないよう全力で様々な取り組みをしていきます。そのため地域コミュニティの増進を計り、学校と地域の連携を推進し、更なる安全性を高めます。

●農商工

少子高齢化により農商工分野において更に増加すると思われる外国人労働者の方々との地域コミュニケーションに対する支援、対策に努めます。

●観光・名産品

白河地域が誇るおいしい農産物、蕎麦、白河ラーメン、白河だるま等の名産品を更に全国に広めると共に小峰城、南湖公園、白河の閑散の素晴らしい観光資源を生かした観光客誘致に繋がる提案をしていきます。



戸倉ひろかづ
大信生まれ 大信育ち (六十五歳)
県立岩瀬農業高等学校農業科卒業
元西白河郡青年団連絡協議会員
元白河市農業委員会委員
元白河市青年海外派遣若人の翼団員
事務局長



荒井ひさお
滋賀大学在籍教授
鹿島自治会議会員
本沼花見山づくり会員
しづかわ市民活動支援会副理事
小規模機能自治推進ネットワーク会議会員
荒井ひさお
あらい

6 GOALS for 白河

地域課題解決と一緒に

1 住民が「まちづくり」に参加できる仕組み

①地域の課題解決に関する「住民自治組織（まちづくり協議会）」の創設
②そのための「活交印（まちづくり予算制度）」の創設
③「まちづくり協議会」と「若者まちづくり協議会」の独自の創設

2 地域産業振興、地域内経済循環の推進

①地元中小企業支援、異業種連携を目的とした「中小企業振興条例」の制定
②地産地消、先端技術導入、農商工連携等を目指す「農業・農村基本条例」の制定
③地元の農業・農村活性化、農業振興等のための「農業・農村基本条例」の制定

3 子どもを地域で育てるまちへ

①「子育てにいきいきできるまちづくり条例」の制定
②「まちづくり予算制度」の実現
③子どもの貧困対策、虐待防止、障がい児支援、子ども家庭総合支援拠点・創設
④学校・地域社会・家庭が協力する「コミュニケーションスクール（地域運営学校）」の実現

4 福祉・保健・医療の拠点創設推進

①「福祉のまちづくり条例」の制定と市内各地に「まちの福祉・保健室」の創設
すべての
②住民自治組織が運営する「高齢者サロン」「子育てサロン」「まちの居場所」の発展推進
③「まちづくり協議会」と「若者まちづくり協議会」の運営

5 多文化共生のまちづくりの推進

①「国際交流・観光と多文化共生のまちづくり協議会条例」の制定
②東京五輪をきっかけとした外国人・観光客のためのSNS等の発展
③外国人労働者とその家族に対応する地域情報の多言語化、学習支援、相談窓口設置

6 地域の再生可能自然エネルギーを活用推進

①「再生可能エネルギー基本条例」の制定と実現
②市民出資と地場企業が分配を結びつけ「市民共創電力プロジェクト」の実現
③温泉効率化ガス削減を推進し、自然環境と調和するエコシティ（環境共生都市）の実現
エネルギー



藤田文夫
ふじたぶみお
年 生年月日
年齢 五十五歳
職 業 農業
農業
氏名 氏名
根本けんいち
昭和三十八年七月十四日

新しい白河の創生のために

- 一、「白河市の宝」子ども達の未来のために環境づくり。
- 二、地域を築き上げた高齢者のための生活支援。
- 三、農業が生き残れるように後継者の育成。
- 四、商工業の発展のため地域内経済環境の推進。
- 五、伝統を活かす街づくりを進めます。
- 六、市政を市民と共に考える新しい強制システムづくり。

少子高齢化の時代 を勝ち抜き、力強い 白河市をつくります。

子どもが輝くまちにし、
学力を向上させます。

働く場所をつくり、
活力あるまちにします。

住み良さが誇れる
ふるさと
白河市にします。

〔略歴〕 国立福島高専卒、前白河市議会議長



戸倉ひろかづ
大信生まれ 大信育ち (六十五歳)
県立岩瀬農業高等学校農業科卒業
元西白河郡青年団連絡協議会員
元白河市農業委員会委員
元白河市青年海外派遣若人の翼団員
事務局長

■経歴
みんなで取り組むべき介護の5つの問題

高齢化社会を生きる我々一人一人が真剣に考え、取り組むべき課題です。

今回ご紹介した介護の5つの問題は、決して他人事ではありません。議員として、真剣に取り組む課題と考えております。

●介護難民
(介護が適切に受けられない高齢者)

●老老介護と認知介護

●介護における5つの問題

●成年後見人トラブル

●高齢者の一人暮らし

●次世代のために

子どもは地域の宝です。のびのびと健やかに育つ環境が大切です。

そのためには子育て世代の問題解決に取り組みます。また、地元で就職し、たくなるような若者にとって魅力ある「しらかわ」をつくります。

心ふれあう市政

①産業の振興と安定雇用の促進

- 既存企業や地場産業への体制強化
- 企業誘致による働く場の創出
- 農産物のブランド化
- 農業経営の安定向上

②地域防災の充実

- 自主防災組織の確立
- 消防団資機材の充実
- 防災減災基盤の整備

③少子高齢化に対応した福祉の充実

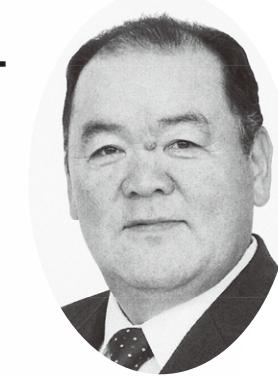
- 子育て支援と教育環境の充実
- お年寄りが夢や希望をもって暮らせる福祉の充実

④住環境の整備

- 生活道路、歩道の整備
- 交通難所のバイパス化

⑤健全な行財政

- 行財政改革による住民サービスの向上
- 社会資本の計画的更新
- 財政効率のある事業への積極的な投資



藤田文夫
ふじたぶみお
年 生年月日
年齢 五十五歳
職 業 農業
農業
氏名 氏名
根本けんいち
昭和三十八年七月十四日

前回、三十三年余り勤務した農協を退職後立候補し、初当選させて頂きました。

これまで私は農協員経験を活かし、様々な農業振興策の提言をして参りました。現在の農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化や、後継者がいない

ため離農する農家が年々増加していく環境です。そのため、農業技術の研修施設の設置や、IT技術を活用した生産性の向上を図るために、耕作放棄地の発生を防ぐため、借り手側の確保や育成が喫緊の課題であり、具体的な対策としては農業法人の設立に向けた農業技術の経営に関するノウハウを取得で

て、農業振興のための「まちづくり」の実現です。また、白河市における人口減少は歯止めがかかるはず、本市の喫緊の課題と考えています。ここ十年で約五千人が減少しております。何とか、現状維持が困難な状況であることを図るために、具体的な対策として、農業法人の設立に向けた農業技術の経営に関するノウハウを取得で

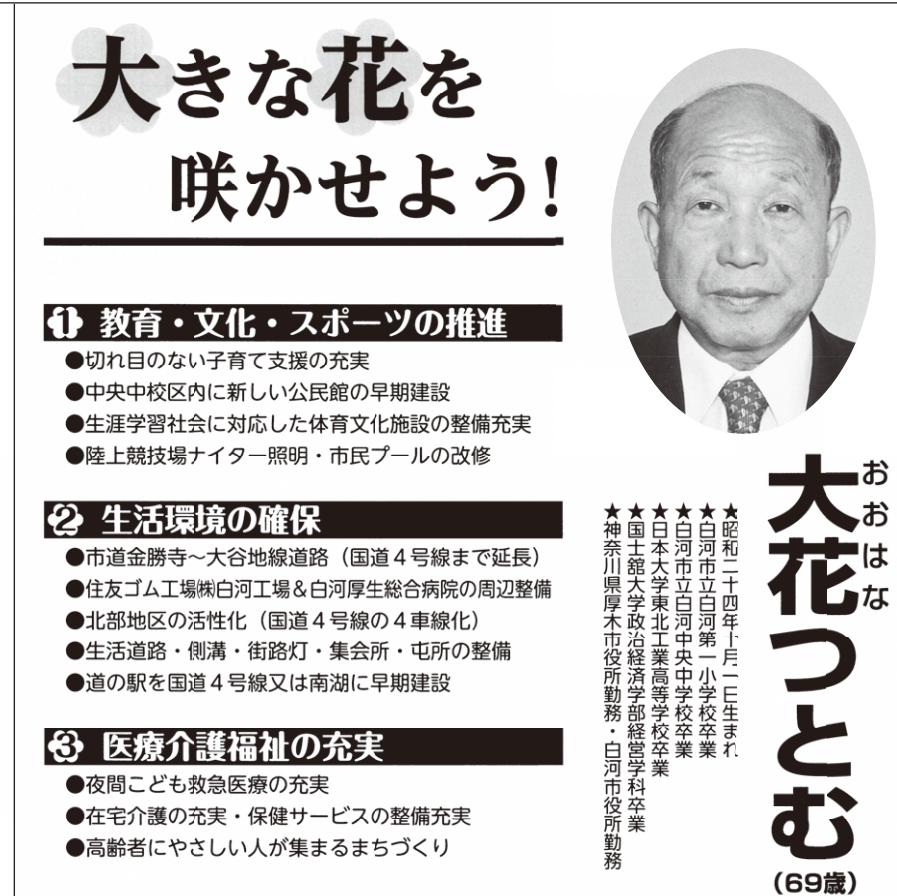
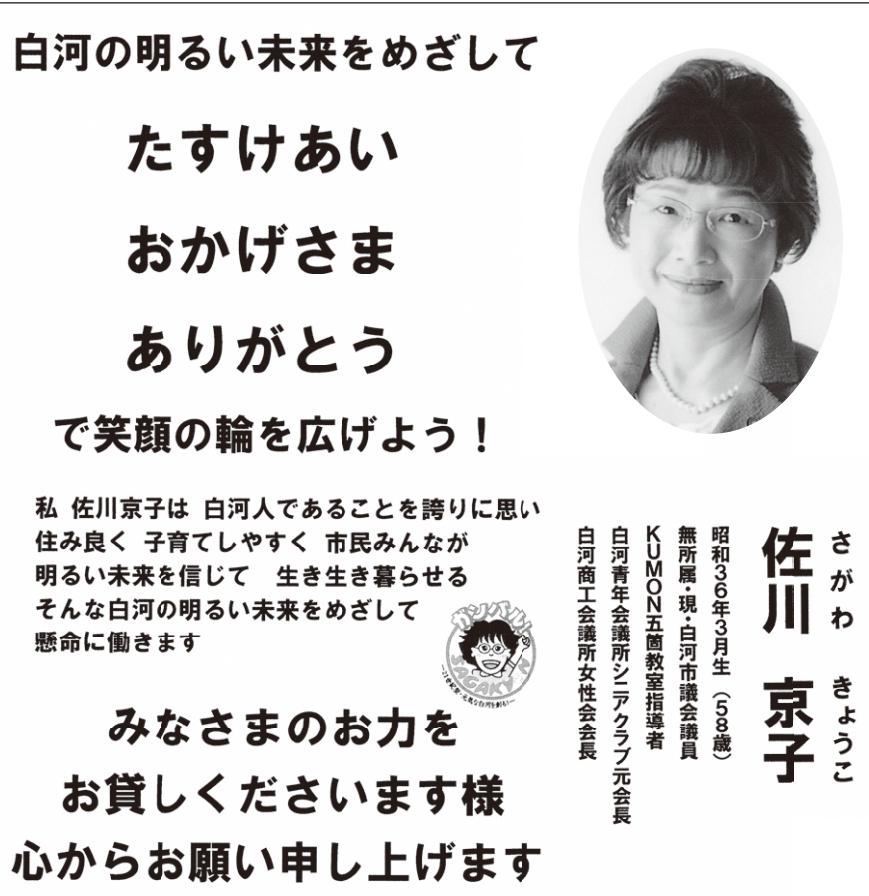
て、農業振興のための「まちづくり」の実現です。また、白河市における人口減少は歯止めがかかるはず、本市の喫緊の課題と考えています。ここ十年で約五千人が減少しております。何とか、現状維持が困難な状況であることを図るために、具体的な対策として、農業法人の設立に向けた農業技術の経営に関するノウハウを取得で

て、農業振興のための「まちづくり」の実現です。また、白河市における人口減少は歯止めがかかるはず、本市の喫緊の課題と考えています。ここ十年で約五千人が減少しております。何とか、現状維持が困難な状況であることを図るために、具体的な対策として、農業法人の設立に向けた農業技術の経営に関するノウハウを取得で

て、農業振興のための「まちづくり」の実現です。また、白河市における人口減少は歯止めがかかるはず、本市の喫緊の課題と考えています。ここ十年で約五千人が減少しております。何とか、現状維持が困難な状況であることを図るために、具体的な対策として、農業法人の設立に向けた農業技術の経営に関するノウハウを取得で

令和元年7月7日執行

白河市議會議員一般選舉選舉公報



投票

ZEB

投票時間

午前7時から午後6時まで

あなたの大切な一票
棄権しないで
投票しましょう。



「築きます！ あなたの一票 白河市」

白河市議會議員一般選舉

白河市選挙管理委員会・白河市明るい選挙推進協議会

 0248-22-1111